

令和8年度家庭教育支援研修会 開催報告

日時 令和8年7月2日(木)13:20～16:40

会場 滋賀県庁東館7階大会議室

参加人数 81名（会場37名、オンライン44名）

内容

○情報提供:「滋賀県の家庭教育支援の取組について」
滋賀県教育委員会事務局生涯学習課員

○講演:「それぞれの立場でできる家庭教育支援～みんなでつながる～」
講師:飛田 隆 氏
(茨城キリスト教大学児童教育学科教授・茨城県家庭教育支援スーパーバイザー)

○グループ別情報交換

○行政担当者会
助言:上村 文子 氏

当日の様子



【情報提供】



【講演 講師:飛田 隆 氏】



【グループ別情報交換】



【行政担当者会 助言:上村 文子 氏】

【参加者の感想より】

I. 講演

- 自身が所属する市の就学前における家庭教育支援事業をこれから進めていくにあたり、いろいろと模索していましたが、講演の中で私が考えていることと同じと思うことがあり、力をいただきました。参考にして推進していきたいと思います。
- 今回の研修会で、家庭教育支援員の存在や役割自体を初めて知りました。本校児童にも、家庭教育支援を必要とする家庭が存在します。茨城県の取組を教えていただき、滋賀県の取組についても学んでいきたいと思いました。
- 質問に対しても、大変丁寧にご教授いただきました。家庭教育支援の難しい状況ではありますが、保護者支援をとおして、保護者の心の安定、子どもの心身の安定につなげていくことができればと思います。
- 飛田先生の講演をとおして、家庭教育支援は、学校・家庭・地域・行政・福祉などの多くの機関が連携しながら保護者や子どもを支えることが重要であると学びました。日頃からつながりを築き、相談しやすい関係をつくることの大切さが印象に残りました。

II. グループ別情報交換

- それぞれの役割や立場において、見えているものが違うことが分かり、興味深かったです。「市の中の学校」「学校の中の自分」という役割を果たしていきたいと改めて感じました。
- 各市町の取組の実情を交流し、現在地を確かめることができました。様々な立場で家庭や子どもを支えることが大切であることを改めて感じました。関係者で情報共有し、協力して知恵を絞っていくことができるとよいと思いました。
- CSアドバイザーや行政の方、中学校の先生など様々な立場の方が、自分の持ち場で、できることに懸命に取り組んでおられる様子が分かりました。市町によって、家庭教育支援のあり方も多様なので、幅広く情報を集めることにより、自身の地域に合った支援のあり方を見つけることができるのではないかと思います。

III. 行政担当者会

- 家庭教育支援に関わる部署にとって、参考になる内容が多く、情報共有を図りたいと思います。
- 改めて、事業実施に対する各市町の抱える課題が明らかにすることができました。これからの推進に向けて、その解決策について今後も情報交換できたらと思います。
- 他市町の取組を聞いて、本市町もこれから家庭教育支援をもっと広げていこうと思いました。予算も伴うので、行政としての役割を果たしていこうと思います。